



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ/リチャード D.キング会長

「ロータリーの心を伝えよう—家庭に、職場に、地域に—」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ/大日方 真会長

本日の例会 2002年4月5日 第741回例会

卓話 イニシエーションスピーチ

「私が会社生活から学んだこと」

東新ビルディング株式会社代表取締役社長 伯井 隆義君
当クラブ会員

前回報告 3月22日 第740回例会

◎社会奉仕委員会報告(村山委員長)

風の子会主催 障害者は外に出よう運動

「第2回大江戸線deハイク」

5/26(日)(6/2予備日)、大江戸線沿線を行き先にして開催。5/18(土)全参加者で打合せ会を行います。ご家族の参加も歓迎致します。是非ご参加下さい。出欠のお返事は4/19(金)までです。

◎ロータリー情報委員会報告(荒木副委員長)

「炉辺談話会」を4月24日(火)六本木ホテルアイビス5階エスカイアクラブで開催致します。入会3年未満の会員を対象に、「ロータリー情報」を中心テーマとして、5時30分から談話会、6時30分からは懇親会食の予定です。出欠のご返事を4/12(金)までに事務局へ。

◎慶事披露

誕生日祝/山下忠治君(3月20日)・武下朗君(3月22日)・石井謙次君(3月24日)・二宮利泰君(3月27日)・佐々木忠行君(3月30日)

◎出席報告 会員69名/出席43名・欠席26名(出席規定免除者9名) ビジター7名

地区社会奉仕・環境保全合同委員長会議報告

村山社会奉仕委員長

(3月28日新宿京王プラザホテルにて)

本年度地区委員長は、ボランティア運動などでも有名な世田谷RCの牟田悌三さんで、大変積極的に活動されております。

1部では、各グループから1クラブが代表で本年度の活動状況の説明の後、意見交換が行われました。何故か当クラブも指名をいただき小生が話してまいりました。

2部では、5月11日(土)に行われる「地区環境フォーラム2002 文明=光と陰」の計画が紹介されました。これには各クラブから会長、幹事、社会奉仕委員長、環境保全委員長をはじめとして7名以上の出席を是非お願いしたいとのことでした。

「ガバナー月信」4月号が公開されております。2750地区ホームページ(<http://www.ri2750.org>)でご覧下さい。

4月行事予定

4月はロータリー雑誌月間です

- 2日(火)火曜日 東京全日空ホテル 37F アストラル 18:00～19:30
- 5日(金)4月定例理事会 東京全日空ホテル 1F かげろう 例会後13:40～15:00
- 9日(火)地区第3回新世代委員長会議 むさし府中商工会議所 2F会議室 15:00～
- 12日(金)2002～2003年度理事・役員・委員長会議 東京全日空ホテル 1F あげぼの 例会前10:30～12:00
- 13日(土)親睦日帰りバス旅行 (親睦活動・職業奉仕・環境保全委員会共催) 忍野八海、久保田一竹美術館、勝沼ワイン工場 (オリジナルワインラベル貼り)
- 15日(月)地区第4回米山奨学委員長会議 京王プラザホテル 47F あおぞら 15:00～19:00
- 19日(金)第5回クラブ協議会 東京全日空ホテル B1 オーロラ 例会後13:40～15:00
- 23日(火)地区第1回「女性会員の集い」 京王プラザホテル 5F コンコトホールムム 18:00～20:30



3月22日/12件35,000円

2001～2002年度累計1,321,000円
多額の御寄付を有難うございました。

武下朗/誕生日と卓話でニコニコします。佐々木忠行/誕生日のお祝いありがとうございます。67回目になります。石井謙次/お誕生日祝い有難うございます。青野さんゴクロー様です。勝山洋光/お誕生日祝い有難うございます。馬場一廣/桜が咲いて、もう散り始めました。山下忠治/欠席が続きました。お誕生日祝い有難うございます。二宮利泰/81回目のバースデイを迎えました。これからです!! 荻野道雄/桜が満開、青野さんご苦労さまです。後藤完夫/春です。スポーツをしましょう。荒木昭文/青野さん、3月20日六本木でバツタリお会いしましたね。清原元輔/青野さん、先日はお世話になりありがとうございます。青野信次/「暑さ寒さも彼岸まで」もう桜が満開です。お彼岸団子とお花見団子を同時に発売したのは初めてです。

次週予告 2002年4月12日 第742回例会

卓話予定

「日本マクドナルドの環境活動について」

日本マクドナルド株式会社 田子 公道氏
社長室環境担当部長



(株)武下CD事務所代表取締役
当クラブ元会長 武下 朗

【株式会社電通は2月18日、わが国の総広告費と、媒体別・業種別広告費を推定した「平成13年(2001年)日本の広告費」を発表した。これによると、平成13年(1-12月)の日本の総広告費は6兆580億円、前年比99.1%で、2年ぶりに減少した。総広告費は、12年に日本経済の回復傾向とIT(情報技術)ブームを背景に、情報・通信、金融・保険などを中心に広範囲の業種で広告活動が活発に行われて3年ぶりに増加したが、13年は後半の減少が響いて年間では前年実績を下回った。ただし、13年の総広告費は6兆円を超え、過去最高の前年に次ぐ水準であった。

平成14年(1-12月)のマスコミ四媒体広告費は前年比96.8%程度と予想される。引き続き日本経済の景気低迷、企業のリストラ、雇用・所得環境の悪化、景気の先行き不透明感などが影響して、年の前半は広告費に関して厳しい状況が続くとみられる。6月にはワールドカップ・サッカーのプラス要素があり、年後半には、米国経済の上昇に伴って日本経済も回復に転じると考えられることから広告費も減少幅が縮小していくものと期待される。】以上DENTSU NEWSより

世の中弱気になるとやたら文字の多い広告が増え、折り込み・DMは勿論新聞等カタログ的なものが主流となり、制作者の望むクリエイティビティなるものとはほど遠い現状です。広告表現が面白くないと言われてもう10数年過ぎています。その一番大きな原因は市場調査がそのまま広告になっていることです。弱気時代の象徴です。

これが続きだすと結構長い期間話題性のない面白くない広告時代が続きます。今まではある日突然、面白い広告づくりの救世主が現れたものですが90年代から今日までその気配はありません。

80年代半ばはまさに広告ルネッサンスと言えるほどで、'84、'85、'86年代は特に才能あふれるクリエイター達が輩出され見事に開花しました。現在は当時活躍した連中はどこに行ってしまったかと思わせるほど姿が見えません。面白い広告は、多分にマイナーなところから出てくることが多いようです。企業は突出をこわがります。担当者に与えられた権限は弱く、経営者が「あれはなんだ」と一言言えばたちまち失墜します。広告と経営は一心同体です。企業理念が優れ、社長自ら広告の企画に参加することに期待したいものです。

お知らせ

RI 第2750 地区第1回「女性会員の集い」ご参加のお誘い

(とき) 4月23日(火)

(会場) 京王プラザホテル 5Fコンコートホールルーム

(登録料) 12,000円

プログラム

17:00 登録開始

18:00~18:30 開会セレモニー

18:30~19:20 講演「国境を超えて」 寺田朗子氏
(国境なき医師団日本会長)

19:30~20:30 懇談会

※ご参加希望の方は、至急登録料を添えて事務局までお願いします。

建物って何年もつもの？！

20年前に建てた鉄骨造に住んでいる中年女性から「あとのくらいもつかしら」と聞かれ、即座に「壊れるまで大丈夫でしょう」と口を突いて出てしまい、ムっとされたことがある。専門家なのだからもっともらしく税法の耐用年数では、とか構造的には・・・とか答えるべきだったと悔やまれても後の祭り。つい最近、行政の建築相談員をしているの1コマ。

当人は、マンションなどに建替えようかと悩んでの相談だったからだ。素人目には当然、阪神大震災のような天変地異でなければ、木造なら何年、鉄筋コンクリートなら目安を説明できて当たり前となる。言い訳になるが、意外に簡単な質問は、実は専門家泣かせなのである。世界遺産の奈良の法隆寺は、木造建築では世界最古の1300年を経て現存しているし、京都の寺社仏閣も数百年はザラ。同様に、西欧の石積み建築でも然り。単純に構造形式や建築材料、使われ方だけで甲乙をつけがたいのが建築の摩訶不思議。

では、どうして近代のテクノロジーを結集した現代の建物は、百年単位でもたないのかといった疑問が残り、釈然としないとお叱りを受ける羽目になる。

そこで、実際に20~30年前後で建替えている主な点は、高度成長期時代に粗製乱造され、欠陥建物や度重なる構造基準の改正で増築、大規模な改修が出来ないもの、維持管理が野放図で設備がダメになったり取替えが難しいもの、また使い勝手が合わなくなったなど機能面、経済面での理由が大半で、骨組みの物理的な老朽化とイコールとは言えないことである。これが残すべきか壊すべきかの迷いとなる。

中でも欠陥建物は、一時マスコミにも連日取り上げられ社会問題化したことは記憶に新しい。この反省から昨年法律が改正され、強制力はないものの、『性能規定』が盛り込まれ、建物の組み合せ方に「経験と勘」ではない工業製品の考えが取り入れられたことは画期的なことと評されている。量から質への見直しが目的で、例えば住宅では、メーカーの口先だけでしか判断出来なかった性能が一目でわかる『物差し』をつけることで、欠陥住宅を買わなくて済むし、商品性能を比較できるメリットも生まれた。もちろんお気に入りの設計者に恵まれた施主は、性能を選びながら費用対効果を共に話し合い、夢の実現へとコマを移すことも可能だ。

「物差し」である性能規定表示の等級には、3段階から5段階があり、等級1なら必要な性能を満たしているとみなされる。等級が高ければ良いという事ではなく、断熱性能など地域や環境、ライフスタイルに合わせコストを考え、等級を選択することが大切となる。

この制度は、施主の依頼により設計段階から工事途中、完成まで第三者機関による性能をチェックする仕組みに加え、一定の部位について10年保証が義務付けられ、解りにくかった工事も明確になった。まだ緒についたばかりで、馴染むかどうかはこれからの課題だ。

近い将来建物は、100年程度はゆうにもつ性能が当たり前、こまめな維持管理で先人達が築いた世界遺産に僅かでも近づく(?)優良なストックとなれば、くだんの相談もマシンなお応えになるのではと期待できる筈です。

東京新南口タリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

[会長] 大日方真 [副会長] 谷村義雄 [幹事] 新保國彦

[会報委員長] 小杉真史 [今週の担当] 後藤完夫

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111